年間授業計画

高等学校 令和７年度（２学年用） 教科　保健体育　科目 スポーツ基礎

教　科：　保健体育　　科　目：　スポーツ基礎　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　1 組～　6 組　男子・女子

教科担当者：（斎藤・新垣）

使用教科書：（ 現代高校保健体育（大修館書店７０１）　）

教科　保健体育　　の目標：　心と体を一体としてとらえ，健康・安全や運動についての理解と運動の合理的な実践を通して，
・生涯にわたって計画的に運動に親しむ資質や能力を育てる。
・健康の保持増進のための実践力の育成。
・体力の向上を図り，明るく豊かで活力ある生活を営む態度を育てる。

【知識及び技能】各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに，技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】運動や健康についての自他や社会の課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて思考し判断するとともに，他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し，明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目　スポーツ基礎　　の目標：　各種の運動の合理的な実践を通して，
・運動技能を高め運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにする。
・体の調子を整え，体力の向上を図り，公正，協力，責任などの態度を育てる。
・生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに，技能を身に付けるようにする。	運動や健康についての自他や社会の課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて思考し判断するとともに，他者に伝える力を養う。	生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し，明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	・体育の授業の約束事、年間授業計画、履修未履修について、評価基準についてそれぞれ説明する。	オリエンテーション	・出席状況、授業態度により判断し評価する。	○	○	○	2
	・サッカー、バスケットボール、バレーボール、陸上競技、テニスの基本的理解と基本的な技術を習得する。	サッカー バスケットボール バレーボール 陸上競技 テニス	・出席状況、授業態度、技術の３点を総合的に判断し評価する	○	○	○	11
	・サッカー、バスケットボール、バレーボール、水泳、ハンドボールの基本的理解と基本的な技術を習得する。	サッカー バスケットボール バレーボール 水泳 ハンドボール	・出席状況、授業態度、技術の３点を総合的に判断し評価する	○	○	○	11
2学期	・ソフトボール、サッカー、バスケットボール、バレーボール、水泳の基本的理解と基本的な技術を習得する。	ソフトボール サッカー バスケットボール バレーボール 水泳	・出席状況、授業態度、技術の３点を総合的に判断し評価する	○	○	○	13
	・ソフトボール、サッカー、バスケットボール、バレーボール、バドミントンの基本的理解と基本的な技術を習得する。	ソフトボール サッカー バスケットボール バレーボール バドミントン	・出席状況、授業態度、技術の３点を総合的に判断し評価する	○	○	○	13
3学期	・アルティメット、サッカー、バスケットボール、バレーボール、バドミントンの基本的理解と基本的な技術を習得する。	アルティメット サッカー バスケットボール バレーボール バドミントン	・出席状況、授業態度、技術の３点を総合的に判断し評価する	○	○	○	10
	・陸上競技、サッカー、バスケットボール、バレーボール、バドミントンの基本的理解と基本的な技術を習得する。	陸上競技 サッカー バスケットボール	・出席状況、授業態度、技術の３点を総合的に判断し評価する	○	○	○	10

		バレーボール バドミントン					合計 70